

千葉大学医学部附属病院で胸壁腫瘍手術を受けた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年7月19日

呼吸器外科

呼吸器外科では、胸壁再建法の安全性および胸壁切除後の胸郭機能維持に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2013年1月1日～2023年12月31日の間に胸壁腫瘍手術を受けた方

1. 研究課題名

「胸壁再建法の安全性および胸壁切除後の胸郭機能維持に関する検討」

2. 研究期間

2024年承認日～2028年12月31日

この研究は、附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

胸壁切除を要する胸壁腫瘍の外科治療にて様々な自家組織や人工材料による再建が、日本全国の施設で経験に基づいた方法で行われております。しかしながら、科学的に検証された定まった方法はありません。当科では特に広範囲の胸壁切除を要する症例ではチタンメッシュプレートとポリテトラフルオロエチレン製シートを併用した方法を施行していますが、胸壁腫瘍の希少性から、短期、長期の成績に関する報告は十分ではありません。本研究では、当科で胸壁腫瘍の手術を行った患者様の臨床情報、画像情報を解析し胸壁再建手法の術後経過や術後の胸郭機能を評価し、安全性、有用性を検討します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録より、背景（年齢、性別、既往歴）、治療経過、画像検査、呼吸機能検査、手術（術式、再建材料、手術後の経過）、病理結果などの情報を利用します。新たに採取する

試料はありません。

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：呼吸器外科 教授 鈴木秀海

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院呼吸器外科および各研究機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

呼吸器外科 助教 豊田行英

043（222）7171 内線5464